

「生きる力」育成議論



東海北陸7県中学校長

福井で研究会

東海北陸7県の中学校長が集い、学校教育の在り方を考える東海北陸中学校長会研究協議会福井大会は6日、福井市のフェニックス・プラザなど4会場で始まった。分科会があり、生涯にわたって学び続ける力の定着や「生きる力」の育成などについて意見を交わした。7日まで。

7県持ち回りで毎年開いており、今回は931人が参加した。この日は八つの分科会
.....
東海北陸の中学校長が集い開幕した研究協議会福井大会は6日、福井市のフェニックス・プラザ

が行われた。

「生涯にわたり学習する基盤を培う『確かな学力』の定着と向上」をテーマにした分科会では、福井市越廼中の大久保昌倫校長が同校の取り組みを発表した。「確かな学力」の鍵は主体性にあるとし、アクティブラーニングの実践で「教員が主体性を持てば、生徒にも主体性が生まれる」と強調。独自の地域活性化活動「越廼PR」で、主体性や表現力、創造性などを表現する場をつくっていることなどを紹介した。

7日は同プラザで全体会があり、大会宣言と「社会を生き抜く力を育む教育に努める」などとする決議を採択する。
(石井敬夫)